



沙翁没後400年記念シンポジウム

歴史劇の現場から -新国立劇場『ヘンリー四世』の上演をめぐる-

おれは
もつとも勇敢な名を持つ
謀反人に会えた
わけだ。

パネリスト:

司会 谷岡 健彦

(東京工業大学リベラルアーツ
研究教育院教授)

講師 北村 紗衣

(武蔵大学人文学部専任講師)

講師 三崎 力

(新国立劇場、演劇制作)

講師 下総 源太郎

(俳優)

日時:2016年12月5日(月)

18:00開始(17:30開場)

会場:東京工業大学

大岡山キャンパス

西5号館レクチャーシアター

(W531講義室)

対象:本学学生、教職員、一般
予約不要、入場無料

《お問い合わせ先》

Tel: 03-5734-3776(平日10:30~17:00)

Mail: ilasym@ila.titech.ac.jp

シンポジウム概要

今年2016年は、ウィリアム・シェイクスピアの没後400年に当たる年です。新国立劇場の舞台には、11月から12月にかけて『ヘンリー四世』二部作がかかります。日本での知名度はさほど高くはありませんが、イギリスの有名な批評家マイケル・ピリントンが、『リア王』や『オセロー』以上に評価している戯曲です。

そこで、東京工業大学のリベラルアーツ研究教育院は、この二部作の魅力を、新国立劇場での上演にもふれながら掘り下げてゆくシンポジウムを企画しました。

イギリスのハイカルチャーからポップカルチャーまでを縦横に論じる新進気鋭のシェイクスピア学者の北村紗衣さん、新国立劇場の演劇制作担当の三崎力さん、『ヘンリー四世』にウスター伯役で出演されている下総源太朗さんを講師にお迎えし、司会は作中人物のホットスパーを偏愛する谷岡健彦教授が務めます。ぜひご来聴ください。

リベラルアーツ研究教育院ホームページ：<http://educ.titech.ac.jp/ila/>



【会場・アクセス】

会場：大岡山キャンパス西5号館

レクチャーシアター（W531号室）

東急大井町線・目黒線 大岡山駅下車 徒歩5分
左地図内23番の建物 3階（入口が3階です）